

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第33回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成28年6月6日(月) 午後2時00分～午後4時00分	場所	木津川市役所 4階 会議室4-3・4-4
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委員	<p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大委員(副会長)、 ■大庭 哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■杉本 美保委員、 ■上野 明信委員、 □占部 禎佑委員、 ■福本 桂子委員、 □神野 勝三郎委員、 ■大村 裕信委員、 □平田 克子委員、 ■久保 恭子委員、 ■今西 邦雄委員、</p> <p>【事業者】</p> <p>□寺嶋 勤委員(西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社総務企画課長)</p> <p>■森本 治実委員 ※代理:西川 裕子(近畿日本鉄道株式会社鉄道本部企画統括部営業企画部)</p> <p>■石川 正也委員 ※代理:米田 佳弘(奈良交通株式会社乗合事業部次長)、 ■津田 秀夫委員 ※代理:村上 英志(株式会社ウイング総務課課長代理)、 □近藤 智彦委員、 ■大江 正泰委員、 ■梅田 幹夫委員、 □加藤 隆委員、 ■霜永 勝一委員 ※代理:布田 尚弘(奈良交通労働組合執行委員)</p> <p>【行政機関】</p> <p>■道久 聡委員、 ■菅沼 幸江委員 ※代理:田中 伸一(国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所調査課専門調査員)、 □山本 勇人委員、 ■木寺 信男委員、 ■西村 基弘委員 ※代理:川田 貢(京都府木津警察書交通課交通総務係長) □河井 規子委員(会長) □田中 達男委員、 ■若狭 朝明委員</p>	
事務局	福島政策監、岩木事務局長、尾崎事務局次長、富井主任、今井主事		
傍聴者	2名		
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況及び収支状況について【資料1】</p> <p>②木津川市コミュニティバスの運賃について【資料2】</p> <p>③木津川市地域公共交通網形成計画記載事業の事業評価について【資料3】</p> <p>④平成27年度決算報告について【資料4】</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①平成28年度補正予算第1号(案)について【資料5】</p> <p>②地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画(案)について【資料6】</p>		

	<p>(3) その他 ①次回協議会の開催日程について ②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会 事務局より開会の宣言があった。</p> <p>2. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として福本委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項 ①木津川市コミュニティバスの利用状況及び収支状況について 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。 ②木津川市コミュニティバスの運賃について 資料2に基づき、事務局から報告があり、確認した。 ③木津川市地域公共交通網形成計画記載事業の事業評価について 資料3に基づき、事務局から報告があり、確認した。 ④平成27年度決算報告について 資料4に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項 ①平成28年度補正予算第1号(案)について 資料5に基づき、事務局から提案があり、承認した。 ②木津川市地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画(案)について 資料6に基づき、事務局から提案があり、承認した。</p> <p>(3) その他 ①次回協議会の日程について 後日通知することとした。 ②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事 (1) 報告事項 ①木津川市コミュニティバスの利用状況及び収支状況について 【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用実績 資料1参考資料 木津川市コミュニティバス利用者数集計グラフ 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答) ○きのつバスの木-2の利用者数が大幅に減少している原因は何か。 ●現在分析をしている。今後、原因を解明していきたい。</p> <p>●利用者数は年々減少しているが、下げ止まりの傾向にある。利用者増に向けて、</p>

昨年度から京都大学も一緒に取り組みを始めた。今年度は何とか増加するように協力願いたい。

○月毎の利用者数実績について、数値が出る迄に時間がかかっている。現時点で5月実績は出ているはずなのに、記載されていない。数値の把握、現状分析をしっかりされたい。

○6月は利用者増に向けた勝負の時期である。様々な活動を通じて利用していただけるように、取り組まれない。

○平成27年度の運行経費が減少している理由は。

●平成26年度と比較すると、利用者数が減少しており、それに比例して予約型乗合タクシーの経費が減少したものの。

○過去の運行経費の推移を見ると、利用者数の減少に比例しているように思われな

いが。
●平成26年度はプロポーザルでの運行業者選定により、経費が減少した。

②木津川市コミュニティバスの運賃について

【配布資料】資料2 木津川市コミュニティバスの運賃について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

●高齢者の運賃を割り引くことによって、多くの利用者数増加を見込む必要があることを示したものの。木津川市のまちづくりに関するアンケート調査の結果、市の負担額も利用者の運賃もこれ以上増額することがないようにされたいという意見が多かったことから、持続可能なコミュニティバスの運行を行うために、現行の運賃体系を持続したい。

○今回の試算は、現在の収入と同額にするために、利用者数を何人増加する必要があるかを計算しただけではないのか。

●具体的に、どのような数値が出るか算出させていただいた。

○高齢者の運賃割引は、外出促進や医療費削減の効果等、福祉施策の面も含めて、市全体で必要性を検討しないといけない。現在、割引を実施している他市と比較して、木津川市もそういった施策をとるべきか、福祉部局も含めて「議論をするため」に計算するものではないのか。

○実施に必要な経費や、効果等の議論をして初めて話が進む。議論をしてから、実施の可否を決めるべきである。

○毎月発行の公共交通だよりは、「バスに乗ってみよう」という思いにさせる内容になっておらず、現状の報告だけである。「乗ってみよう」という気持ちにさせ

るような内容にされたい。

- 四季折々、バスに乗って市内の名所を訪れていただけるよう、取り組みを進めている。魅力ある場所へバスで行けるという情報を入れていきたい。
 - 公共交通よりはバスに関する記載が多いが、道路の整備状況について知らない市民も多くそういったことについて知らせていただきたい。
 - 具体的に道路の完成年度が明らかにできる部分がない状態である。今後、掲載可能で確実な情報が得られることができれば、関係課と調整し、掲載していきたい。
 - きのつバスは200円に料金改定があった際、大幅に利用者数が減少した。逆に、改定前の100円に戻すと、利用者数は増加するはずである。
 - 現在のきのつバスの収支率は約45%である。運賃が改定前の利用者数は今より多いが、収支率は30%台であった。そういった点から、持続可能な運行の為に協議会で運賃を改定してはどうかという意見があった。
 - 高齢者の方から、料金改定後にきのつバスを利用したという声をあまり聞かなくなった。後期高齢者からでも半額にし、福祉に手厚い木津川市ということをPRしてはどうか。
 - 将来的に安定した運行のために、必要な経費は利用者に負担していただくことは施策としてはありえるが、高齢者のみ割引を実施している自治体はある。その場合は、利用者に代わって市の財政負担として予算を計上している。「誰が負担するか」という問題であり、引き続き議論をしたい。
 - 合併後、未だに交通体系が旧町単位である。「市をつなぐ」という考え方にはならないのか。
 - 年齢層別の利用割合を示すだけでなく、高齢者が多いのであれば、使いやすいバス停の設置を考えていただきたい。
 - ルートについては頂いた意見を参考にし、次回の見直しの際に使いやすい方向に向けて、引き続き議論をしたい。
- ③木津川市地域公共交通網形成計画記載事業の事務評価について
【配布資料】資料3 木津川市地域公共交通網形成計画記載事業評価について
【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)
質疑等はなかった。
- ④平成27年度決算報告について
【配布資料】資料4 平成27年度歳入歳出決算について
質疑等はなかった。

(2) 協議事項

①平成28年度補正予算第1号(案)について

【配布資料】 資料5 平成28年度補正予算第1号(案)について

質疑等はなかった。

②地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画(案)について

【配布資料】 資料6 地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画(案)について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

○加茂駅から高の原駅間の路線をつなげられないのか。旧町を越えた発想は計画のどこにも入らないのか。

●鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー等、それぞれの公共交通の役割があると考えている。以前、和東町から木津駅までのルートがあったが、利用者数が少ないため和東町から加茂駅止まりになった。

○コミュニティバスを便利にしてほしいという意見が、議員や市民から出ている。文化、買物、全てに便利なコミュニティバスを作っていただきたい。時間帯も通勤や通学に合うバスがない。根本的な事を変えたら、多くの人が利用をするはずである。スピーディーな施策を望む。

○1日フリー乗車券を奈良交通の路線でも利用できるようになれば、さらに便利になるはず。また、利用しやすい乗合タクシーにするには見直しが必要だと考える。

○路線をいいものに見直していくのは当然であり、頂いた意見を参考に、検討していきたい。また、4年ほど前に加茂地域を走るバスを数倍に増やしたが、乗車していただけなかった経緯があるので、見直しは慎重に考えるべきである。

○今後、自家用車の利用が減っていく状況で、コミュニティバスはとても便利である。ただ、現状では不便なので、増便等もう少し考えていただきたい。

●現在の路線を「使えない」と考えられるより、1回でも多く利用していただく方向にしていきたい。コミュニティバスの役割等を考えながら、少しでも便利な路線にしていきたい。

(3) その他

①次回協議会の日程について

改めて通知させていただく。

②その他

3. 閉会

	以上。
その他 特記事項	なし。